



TOBE
The Y's Men's Club
of Kyoto

京都トゥービーワイズメンズクラブ 第295回10月第二例会

「現代の日本を斬る」

～経済・経営者のあり方、古き良き日本、そして環境～

講師：株式会社アシスト 代表取締役 ビル・トッテン氏

- 日時 2009年10月28日（水）19時開会～21時閉会（18:30受付開始）
- 場所 京都全日空ホテル（二条城前）
- 会費 5,000円（お食事代含む）

※お申し込み（10月27日午前中締切）・お問い合わせは下記メールまで...
shokil4@tobe.x0.com

せり



ビル・トッテン氏 プロフィール

アシスト *People Assisting People*

1969年、米国のソフトウェア・メーカーの一社員として市場調査のために初来日したトッテン氏は、日本こそパッケージ・ソフトウェア販売における有望な市場であると確信、幹部に進言しましたが受け入れられず対立。退社して、自ら汎用ソフト「ASIST」の販売権を手に入れ日本市場に参入。資本金100万円、社員7名で日本初のパッケージ・ソフトウェア販売専門会社を興し、現在のアシストに育て上げました。現在、トッテン氏は、テレビ出演や講演会など仕事以外の活動も精力的にこなし、著書も出版。単なる日米比較の検証にとどまらず商習慣や文化、政治、犯罪などにも言及していますが、その一方でトッテン氏の企業経営に対するポリシーが随所に著されています。

「株に投資をするくらいなら研究開発費に充てる」

「株式上場は会社経営をカジノ化するだけ」

「家族的な仲間意識が会社を強くする」

これらの日本的経営感が、現在のアシストを支えていると言ってもよいでしょう。

趣味は読書。また環境・食糧問題への取り組みの手始めとして自宅の庭を農地に改良し、2006年には社内に「農芸研究プロジェクト」をたちあげ「私たちにできることから」を実践しています。

<http://www.ashisuto.co.jp/corporate/totten/>

■名前 ビル・トッテン (Bill Totten)

■肩書 株式会社アシスト 代表取締役 (President, K.K. Ashisuto)

■経歴 1941年(昭和16年) カリフォルニア州に生まれる
1963年(昭和38年) カリフォルニア州立大学卒業
1963年(昭和38年) ロックウェル社 (アポロ計画) 勤務
1967年(昭和42年) システム・デベロップメント社 (SDC) 勤務
1969年(昭和44年) SDC社の社員として日本の市場調査のため初来日
1969年(昭和44年) SDCに在籍しながら南カリフォルニア大学経済学博士号取得
1972年(昭和47年) 株式会社アシスト設立、代表取締役就任
2006年(平成18年) 6月 日本に帰化し日本国籍取得

■主な著書

「『年収6割でも週休4日』という生き方」	(2009年10月28日予定 小学館)
「米金融危機、日本の活路はどこにある!？」(共著)	(2008年12月 洋泉社)
「愛国者の流儀」(2008年3月 PHP研究所)	(2008年3月 PHP研究所)
「日本は略奪国家アメリカを棄てよ」	(2007年 ビジネス社)
「なぜニッポン人は美しい風習を捨てるのか」(共著)	(2006年 明拓出版)
「日本のモノづくり58の論点」(共著)	(2005年 JIPMソリューション)
「会社は株主のものではない」(共著)	(2005年 洋泉社)
「銀行は強盗、外資はハイエナー 日本再生の処方箋ー」	(2002年 小学館文庫)
「＜脱アメリカ＞が日本を復活させる」	(2000年 徳間書店)
「アングロサクソンは人間を不幸にする」	(2000年 PHP研究所)
「＜発想の大転換＞消費不況・こうして突破する!」	(1999年 PHP研究所)
「日本は日本のやり方で行け!」	(1998年 PHP研究所)
「アメリカは日本を世界の孤児にする」	(1997年 ごま書房)
「日本はアメリカの属国ではない」	(1997年 ごま書房)
「目を覚ませ、お人好しの日本」	(1995年 ごま書房)
「日本人はアメリカにだまされている」	(1994年 ごま書房)
「日本は悪くない」	(1990年 ごま書房)